

2015 年 9 月 29 日

日本空港ビルディング株式会社

羽田空港国内線旅客ターミナルに次世代型ロボット導入！！ ～サイバーダイン社製ロボット HAL[®]等の運用開始～

この度、日本空港ビルディング株式会社は、羽田空港国内線旅客ターミナルビルにおいて、CYBERDYNE 株式会社のロボットスーツ HAL[®]等を導入いたします。

1. 導入経緯

日本の玄関口である羽田空港から日本の技術を発信していくこと、また、空港利用者に対する安全・安心・便利を前提とした良質なサービスを提供すること、および、空港従業員がより健康的に働きやすい環境を創出することを目的として、本年 7 月 2 日、CYBERDYNE 株式会社と次世代型ロボット導入等に関する基本合意書を締結し、羽田空港国内線旅客ターミナルにおけるロボットの活用に向け実証実験してまいりました。今般、そのロボットを以下のとおり導入いたします。

2. 導入ロボットと対象作業

(1) ロボットスーツ HAL[®] 作業支援用（腰タイプ）×3 台

対象作業：物流関連作業、物販店における商品補充

リムジンバスの荷物積み込み・下ろし*

※東京空港交通㈱の協力

(2) 搬送ロボット×3 台

対象作業：地下倉庫間における荷物搬送

(3) クリーンロボット×5 台

対象作業：空港内清掃、店舗等の床清掃



3. 導入開始日

2015 年 9 月 30 日（水）

4. 今後の展開について

ロボットの導入にあたり、その効果等を検証し、対象作業、エリア、台数の拡大を図るとともに上記ロボットの機能向上に加え、未来の空港のあり方を見据え、空港の省力化・高度化等を目的とする新しいロボットの研究開発についても、CYBERDYNE 株式会社と取り組んでまいります。

引き続き、関係事業者さまとの連携を含めオール羽田で「世界に先駆けた、空港におけるロボット技術活用の未来像」を創出してまいります。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

日本空港ビルディング株式会社 経営企画本部 広報部 広報・IR 課

電 話（03）5757-8030（9:00～17:30）※土日祝日除く